

2022 年度第 2 回日本東洋医学会関東甲信越支部栃木・茨城合同県部会によせて

日本東洋医学会関東甲信越支部栃木県部会・会長
宇都宮市医師会・副会長
栃木県医師会・監事
金子 達(金子耳鼻咽喉科クリニック・院長)

今年も茨城県部会との第 2 回の合同の地方部会を行うことになりました。2019 年末から起こってきた新型コロナの流行で、世界的にも日本的にも従来とはまったく異なる事が起こってきました。対面の会議や学会が中心であった日本では、現在その形式が異なるインターネットを通じて行われるいわゆるネット会議が主流となりました。昨年、茨城県部会と栃木県部会が日本東洋医学会で初のマナブルのシステムを用いた合同学会をネット上で行いました。特にリスク分散も考えて 2 県で行いました。前回は茨城県部会の平山 暁先生を始め諸先生方のご努力で想像以上に成功裏に開催されました。今回は不慣れな私を始め栃木県部会体制でご迷惑をおかけすることも多々あると存じますが、今後とも研鑽を進める覚悟ですので宜しくご容赦のほどお願いいたします。

さて、世界はコロナ禍における変革で、変わらないといけないことが数多くあります。まだまだ日本人の変化では、私を含めて十分ではないと思います。何が正しいか自分で判断すること、常に新しいことも視野に入れた勉強をしていくことが重要であると考えています。

また、日本東洋医学に対する中国の圧迫はより強くなりつつあります。東洋医学＝中医学では困ります。しかし、現在の覇権主義の中国の行動には油断は出来ません。そのような中、ウクライナへ戦争を仕掛けたロシアのプーチン、台湾・南西諸島への圧力を増す中国の習近平、核やミサイルの北朝鮮の金正恩、以上の三人独裁者の行動次第では日本も戦争に巻き込まれる可能性も出てきています。今回もコロナ禍におけるそういった問題点が内容に入っています。また循環器に対する漢方も整理して覚えられると思います。今回の学会が、皆様の明日からの日常診療にお役に立てれば幸いです。

最後に、来年くらいにはウイズコロナの時代として対面で学会が出来れば良いのではと思います。科によってはオンラインではなく会場だけの学会も出てきています。皆様の積極的なご参加を宜しくお願いいたします。

2022 年 10 月
日本東洋医学会関東甲信越支部・栃木県部会
部会長 金子 達